

# 第2章

# 山形の歴史ものがたり



↑文翔館全景(現在)

縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	安土桃山	江戸(前期)
熊ノ前遺跡		菅沢古墳群		国分寺薬師堂			双葉町遺跡		山形城跡
							光明寺(斯波)		三の丸土塁跡
		大之越古墳			馬上台遺跡		十日市跡		最上義光歴史館
					山寺立石寺				長谷堂城跡
		河原田遺跡			石造明神鳥居				長谷堂合戦図屏風
		嶋遺跡			両所宮				光禅寺(義光)
					むつくぬぎ 六榎八幡神社				専称寺(駒姫)
									山形五堰



↑菅沢古墳群



↑山寺立石寺



↑石造明神鳥居



↑山形五堰(御殿堰)

## 1 歴史を語るもの

私たちの街の中には、古代から現代までの「歴史を語るもの」を多く見ることができます。まず、霞城セントラルの展望台など高いところから山形市全体を見てみましょう。斯波兼頼や最上義光を語る象徴でもある山形城のあった霞城公園や、直江兼統との戦いで知られる長谷堂城のあった城山、古代の歴史を語る菅沢古墳群が見えます。

東の方向を見ると、扇状地の先端から馬見ヶ崎川が流れていますが、誰が流れの方向を変えたのでしょうか。盃山付近で急な曲線になっています。

遠く南東には信仰の山「瀧山」が見えます。奥まって見えませんが北東には慈覚大師円仁が開山した「山寺」があります。

街の中にある「歴史を語るもの」に、当時の人々の創造的な知恵と生きぬいてきたパワーを発見することができます。

さあ！フィールドワークで大好きな山形の歴史を探索してみましょう。



↑初代山形県庁(明治10年~33年頃)



↑(明治33年頃~44年)

山形県師範学校新築移転時に大時計が取り外され、県庁舎の上層に取付



↑旧山形県庁(大正5年~現文翔館)

江戸(中期~後期)	明治	大正	昭和	平成	
旧町名標柱	なかたち石	旧済生館本館	文翔館	第一小学校旧校舎	霞城セントラル
湯殿山道中略圖		山形県師範学校(現教育資料館)	旧県会議事堂		
紅花屏風絵		山形県新築の圖			
もみじ公園・清風荘			山形聖ペテロ教会		
七日町御殿堰蔵前井戸					



↑山形県師範学校(現教育資料館)



↑旧済生館本館(現市郷土館)



↑山形新幹線(つばさ)



↑第一小学校旧校舎(現山形まなび館)

歩いてみると、実に多くの歴史建造物を見ることができます。旧県庁の文翔館周辺から七日町、本町、十日町、そして、山形駅周辺を散策すると、江戸時代から明治・大正・昭和、そして平成に至るまでのその時代の歴史を象徴する建物があります。また、東の扇状地扇頂から西に下ると馬見ヶ崎川を取水口とする山形五堰を辿ることができ、江戸時代の生活を垣間見ることができます。

文翔館、郷土館、教育資料館、山形まなび館、最上義光歴史館、霞城セントラルなどに立ち寄ってみると、さらに「歴史を語るもの」に出会えます。また、歴史の出来事を伝える「長谷堂合戦図屏風絵」「城下絵図」「紅花屏風絵」「馬見ヶ崎川五堰流路図」「山形県新築の図」等を読むことにより、当時の人々の創造的な知恵とたくましく生きるパワーを発見できます。

過去の歴史を知る方法はいろいろあります。

「訪ねる→自分の目で確かめる→話を聞く→疑問に思ったこと調べる→関心のあることを深く追究する」など、自分にあった楽しみ方で歴史にふれてみましょう。